

## もっと安心農産物(エコ認証) 春どり キャベツ 栽培暦(令和2年度)

JAちばみどり 飯岡野菜部会

### 1. 土づくり

輪作体系にマリーゴールド・エン麦・ハブエースを作付けする。

☆施肥量は施肥できる上限施肥量とする。(上限施肥量を超えての施肥はできない)

☆追肥は、量を分けて施肥できる(例:上限60kg/10aの場合40kgと20kgの2回に分けて施肥可能)

### 2. 施肥 ☆施肥診断に基づく施肥量の遵守 (化学肥料窒素成分使用量14kgまで) 下記 1~4 いずれかのプランを選択する

プラン	基肥	追肥	窒素成分にカウントしない肥料
基肥 1	基肥	マイルドユーキ030号(10-13-10)有機態窒素 5.3	140kg/10a以下
	追肥	マイルドユーキ030号(10-13-10)有機態窒素 5.3	120kg/10a以下
基肥 2	基肥	NKマイルド028号(10-2-8)有機態窒素5.3 ※磷酸過剰圃場用	140kg/10a以下
	追肥	NKマイルド028号(10-2-8)有機態窒素5.3 ※磷酸過剰圃場用	120kg/10a以下
基肥 3	基肥	有機ブリケット味好1号(6-8-4)有機態窒素 6	120kg/10a以下
	追肥	追肥専用化成S842(18-4-12)	60kg/10a以下
基肥 4	基肥	エコレット866(8-6-6)有機態窒素4.1	200kg/10a以下
	追肥	エコレット866(8-6-6)有機態窒素4.1	150kg/10a以下
苦土石灰 苦土重焼燐 けい酸加里特号 マルチサポート1号			土壌分析により 施肥量を加減する

### 3. 防除

☆農薬使用成分回数は、8成分回数までに抑える。

☆購入苗の場合、農薬使用成分回数は6成分回数までに抑える。

☆防除暦の下部に記載されている変更可能な農薬と防除農薬は選択可能とする。

☆化学合成農薬に含まれない農薬は、成分回数にカウントしないが、農薬登録は厳守する。

月	旬	作業	病害虫発生時期	薬剤名	濃度・使用量	対象病害虫	使用時期	備考(耕種的防除実施等)	
9	上旬		ネキリムシ	①D-D	15~20g/10a	ネコブセンチュウ、ネグサレセンチュウ	作付10~15日前	害虫の発生量を減らすため圃場周辺の除草をする。	
	中旬								
	下旬	播種		②フロンスサイド粉剤 ②フロンスサイド粉剤 ②フロンスサイド粉剤	40kg/10a 15~20kg/10a 30~40kg/10a	菌核病、苗枯病 根こぶ病 根こぶ病	播種又は定植前 作条土壌混和 全面土壌混和		育苗床は害虫防除のため寒冷紗でトンネル被覆をする。
10	上旬		ヨトウムシ	③プレバソフフロアブル5	500倍(灌注) 苗床灌注処理	コナガ、アオムシ、ウワバ類、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	育苗期後半~定植当日	根こぶ病発生圃場は早植を避ける	
	中旬	定植		④フォース粒剤	4kg/10a	ネキリムシ類	定植時 全面土壌混和		
	下旬								
11	上旬		コナガ	⑤ハチハチ乳剤	1000~2000倍	アオムシ、アザミウマ類、アブラムシ類、コナガ、ハイマダラノメイガ	収穫14日前	作用機作の異なる薬剤をローテーションで使用する	
	中旬	追肥 土寄せ		⑥プレオフロアブル	1000倍	アオムシ、ウワバ類、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫7日前		フェロモントラップの発生量を観察して防除を実施
	下旬	結球初期		⑦カスミンボルドー	1000倍	黒腐病、軟腐病、黒斑細菌病	収穫7日前		土寄せ後、黒腐病の防除を実施する
4	上旬	収穫 ↓	菌核病	⑧コルト顆粒水和剤	3000倍	アブラムシ類、ネキアザミウマ	収穫前日		
	☆変更可能な農薬 ※上記農薬と変更可能								
					バスアミド微粒剤	20~30kg/10a	根こぶ病	播種又は定植21日前	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する
				ダコニール1000	1000倍	べと病、根朽病	収穫14日前		
				キノドーフロアブル	800~1000倍	黒腐病	収穫14日前		
				ロブラール水和剤	1000倍	菌核病	収穫7日前		
				※モベントフロアブル	2000倍 2000~4000倍	アザミウマ類、コナガ アブラムシ類	収穫7日前		
				※ファインセーフフロアブル	1000~2000倍	アオムシ(1000倍)、アザミウマ類、コナガ	収穫3日前		
				※カセット水和剤	1000倍	黒腐病、黒斑細菌病、軟腐病	収穫7日前	3回以内 ※2成分カウント	
				※アグリマイシン-100	2000倍	黒腐病、黒斑細菌病	収穫14日前	2回以内 ※2成分カウント	
				※ナレート水和剤	800倍	黒腐病、軟腐病	収穫14日前	3回以内 ※2成分カウント	
				※ロブラール水和剤	1000倍	菌核病、株腐病	収穫7日前		
				※ランマンフロアブル	2000倍	べと病	収穫3日前		
				※グレーシア乳剤	2000~3000倍	アオムシ、アザミウマ類、ウワバ類、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫7日前		
				レーバスフロアブル	2000倍	べと病	収穫7日前		
				ディアナSC	2500~5000倍	アオムシ、アザミウマ類、ウワバ類、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日		
				トランスフォームフロアブル	2000倍	アブラムシ類、ネキアザミウマ	収穫前日	3回以内	
				トルネードエースDF	2000倍	アオムシ、コナガ、タナキンウバ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫7日前		
				アフットフロアブル	2000倍	菌核病、株腐病、根朽病	収穫前日		
				フェニックス顆粒水和剤	2000倍	アオムシ、ウワバ類、オオタバコガ、コナガ、ハイマダラノメイガ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日		
				アドマイヤーフロアブル	4000倍	アブラムシ類	収穫7日前		
				ウララDF	2000~3000倍	アブラムシ類	収穫前日		
☆化学合成農薬に含めない農薬									
				スピノエース顆粒水和剤	2500~5000倍 5000倍	アオムシ、コナガ、タナキンウバ、ヨトウムシ アザミウマ類、ハイマダラノメイガ	収穫3日前	3回以内	
				ポリオキシンAL水溶剤	1500倍	菌核病	収穫14日前	3回以内	
				ゼンターリ顆粒水和剤	1000倍	アオムシ、オオタバコガ、コナガ、シロイモシヨトウ、ハスモンヨトウ、ヨトウムシ	収穫前日	発生初期	
				コサイド3000	2000倍	褐斑細菌病、黒腐病、軟腐病、斑点細菌病	—	予防(汚れ軽減)	
				Zボルドー	500倍	褐斑細菌病、黒腐病、黒斑細菌病、軟腐病、斑点細菌病、べと病	—		

※令和2年4月1日 追加